



かしまホットニュース

鹿島市の最近の話題や気になる話題をご紹介します。No.17

市のホームページでもご覧いただけます

1. 東京と福岡で「鹿島フェア」開催！

東京都中央区神田の「全国うまいものサロンなみへい」と福岡市博多駅前の「九州郷土料理“わらび”」で、「鹿島フェア」が1月31日(水)まで開催されています。期間中は、鹿島の酒蔵6蔵の日本酒が飲めるほか、「むつごろう」や「ワラスポ」、「クチゾコ」、「福頭(フクガシラ)」など鹿島産の農水産物を使った郷土料理が堪能できます。また、鹿島ならではの特産品も販売されますので、このフェアを通して、鹿島の魅力が首都圏にも広く伝わり、鹿島ファンが増えてくれることを期待しています。

【問合せ先】 全国うまいものサロンなみへい(東京都中央区神田) TEL 03-6666-5963
九州郷土料理わらび(福岡市博多区博多駅前) TEL 092-481-1265



鹿島フェア(東京)の様子

2. 佐賀県教育長賞受賞！古枝小学校6年生！

明治維新150年を記念して3月から開催される「肥前さが幕末維新博覧会」のイベントとして、第1回佐賀県児童生徒ふるさと学習コンクールが行われました。その中で佐賀県教育長賞を古枝小学校6年生の4人が受賞しました。また、学校教育課長賞を鹿島小学校の5年生4人、優秀賞を七浦小学校の6年生2人が受賞しました。教育長賞を受賞した作品は、「発見！古枝・鹿島の幕末～明治」と題して、幕末から明治にかけて起きた日本と鹿島の出来事を比較した年表やその時代に活躍した鹿島の偉人達を紹介するなど、鹿島の近代史がわかりやすい内容となっています。受賞した3作品は、市の生涯学習センター「エイブル」ロビーにて展示されています。

教育長賞の作品はこちら →



教育長賞の作品

3. 300年以上の伝統！ふな市開催！

1月19日(金)肥前浜宿の酒蔵通りで、300年以上続いていると言われる「ふな市」が開催されました。鹿島地方では、二十日正月に「ふなんこぐい」という料理を恵比寿さまにお供えしたり、奉公人をねぎらうために作る風習が昔からあります。「ふなんこぐい」は、鮎を昆布巻きにして骨が柔らかくなるまで丸一日煮込んだ郷土料理です。当日は朝早くから、「ふなんこぐい」に使う寒ブナなどを求め多くの人で賑いました。



伝統のふな市の様子

4. 祝成人！362人が大人の仲間入り！

1月7日(日)市民会館で、鹿島市成人式が開催されました。当日は、対象となった平成9年4月2日から平成10年4月1日に生まれた362人のうち289人が参加され、新成人の誓いの言葉とともに大人としての自覚を新たにしていました。また、式典の前後には、友人との久しぶりの再会に会話も弾み、思い出に残る成人式になったと思います。



成人を迎えた若者たち

5. 鹿島の安全・安心に向けて！消防出初め式開催！

1月6日(土)中川公園グラウンドで、鹿島市消防出初め式が開催されました。当日は、寒風が吹く中、379人の消防団員や消防署員、幼年消防クラブの園児も参加し、消防団の行進や祝賀の一斉放水が行われました。消防団員たちは、火災や災害などから市民の生命・財産を守り、さらに消防体制を堅持していくための決意を新たにされていました。



消防出初め式の様子



鹿島は色々なことに取り組んでいます。全国の方に鹿島を知ってもらうために、みなさんも、SNSで広めてください。